

あい

令和5年(2023年)8月1日

**i**センターだより

195号【特別号】

沢良直  
いのち・愛・  
ゆめセンター

開館  
50  
周年





### 1990～1999

- 1990年 3月：本館2階増改築完成
- 1994年 11月：解放会館のあり方庁内検討会を設置
- 1995年 1月：阪神・淡路大震災発生
- 6月：地域内外との交流促進のため、「地域交流の集い」スタート
- 1996年 5月：識字学級に数人の外国人を受け入れる
- 1997年 11月：1996年5月に目された「地域改善対策協議会意見具申」等を踏まえ、10月20日に「茨木市同和行政基本方針」、11月20日に「これからの解放会館のあり方」を策定。この年は現在の愛センター活動の基礎となる歴史的転換期となる
- 1998年 6月：会館の今後の事業方向を把握するためのニーズ調査を10月まで実施（357人/400人回答）
- 1999年 1月：本館エレベーター完成！
- 3月：茨木市立いのち・愛・ゆめセンター条例の制定（解放会館条例の全部改正）
- 4月：沢良宜解放会館から「沢良宜いのち・愛・ゆめセンター」へ名称変更
- 4月：2階にみんなで利用する共用フリースペース「共用ふれあいサロン」を新設
- 4月：i(あい)センターだより第1号創刊
- 5月：識字学級だけでなく外国人を対象とした「日本語教室」を開講。中国を中心とした外国人（中国12ロシア1カナダ1フィリピン1）受講生が学ぶ
- 8月：街かどデイハウス事業である街かどステーション「ほっとスル」が1階洋室を活用して開始される

### 2010～2019

- 2010年 4月：沢良宜愛センター北棟を閉鎖し、7月から「茨木市立子育てすこやかセンター」として開館
- 2014年 2月：本館耐震補強工事完了
- 2015年 4月：耐震補強工事が完了した本館が災害時の指定避難所として指定される
- 2016年 7月：図書の出借を開始
- 2017年 3月：茨木市人権尊重まちづくり審議会へ諮問のあった「茨木市立いのち・愛・ゆめセンターあり方について」を市長に答申
- 2018年 6月：大阪北部地震発生、約1カ月間の避難所開設と館事業及び一般貸館利用を停止
- 7月：本館に自習室を開設
- 7月：分館でユースプラザ事業「ベンポスタ・パーチスペース」を、NPO法人はっちぼっちが受託して開始
- 2019年 1月：愛センターのホームページをリニューアル

### 1970～1979

- 1972年 茨木市立解放会館条例の制定
- 1973年 8月：茨木市立沢良宜解放会館 開館
- 9月：各種相談業務、講習・講座、学童保育を開始
- 10月：さわらぎ識字学級を旧集会所から会館に場所変更して開始
- 1975年 3月：解放会館のあゆみ「第1号」を創刊
- 1976年 12月：移動図書館「ともしび号」が初めて来館
- 1979年 7月：同和对策事業対象地域実態調査に関わる

### 1980～1989

- 1980年 9月：第1回大阪府識字学級生経験交流会で沢良宜の学習者が発表
- 1982年 10月：沢良宜地区実態調査に関わる
- 1983年 9月：茨木市同和事業促進沢良宜地区協議会が結成
- 1988年 9月：約2年の歳月を経て、地域学習やフィールドワークで使用するための、沢良宜独自の啓発スライド「沢良宜では、いま」が完成

- 2000年 5月：大阪府内を対象とした「同和問題解決に向けた実態等調査」内の「生活実態調査」に関わる
- 2000年 9月：沢良宜理髪所（消防団玉櫛分団も屯所として一時利用）跡を改修し沢良宜愛センター分室（現沢良宜いきがい交流ハウス）として利活用
- 9月：長期的・複合的な相談事例の解決に向けて方策案を議論する「支援方策検討会」を新規設置
- 2002年 3月：第1回葦原地域ふれあいまちづくりフェスタ（現茨木みなみ地域ふれあいまちづくりフェスタ）開催
- 4月：従来までの各種相談事業を「総合生活相談事業」として再構築して開始
- 2005年 3月：統計史上初めて年間施設利用者が36,000人を超える
- 2006年 4月：沢良宜愛センター北棟開設（2004年度末に共同浴場としての利用閉鎖・2005年度に改修）
- 4月：夜間相談（予約制）を開始
- 2009年 7月：茨木市立沢良宜青少年センターを沢良宜愛センターに統合し、分館化

- 2020年 3月：新型コロナウイルスが世界的に蔓延、緊急事態宣言発出により3月上旬から約3カ月間閉館
- 10月：社会保険労務士資格を有したファイナンシャルプランナーによるくらし設計相談開始
- 8月～12月：本館外壁・屋上防水等工事によりリニューアル
- 2021年 1月：エントランス壁面にアートを施した「みんなの想い」壁面アートプロジェクト完成「Life Love Dream」
- 4月：施設利用申請のインターネット予約システム稼働
- 4月：Wi-Fiモバイルルーターの出借開始
- 9月：多文化共生支援事業「IMS」開始、オンライン日本語交流会や対面での交流サロンを開催
- 2022年 4月：本館2階小会議室を移設し、相談従事者等が気軽に利用できる地域相談室を設置
- 2023年 3月：分館外壁・屋上防水等工事によりリニューアル
- 8月：祝！沢良宜いのち・愛・ゆめセンター開館50周年

### 2000～2009

### 2020～現在



# ～Message to Sawaragi Ai Center～

**幅** 広い地域住民が大切な施設と思っています。スタートの原点を忘れず、50年の歴史を踏まえて、人権の啓発・交流・支援の地域センターとして益々の発展を期待します。

茨木市人権みなみ地域協議会  
会長 村井 茂さん

**前** 身の解放会館は、部落の解放を願って、私が中学生の時に建てられました。今後更に、茨木みなみ地域の人権を守る砦として邁進いただくことを期待します。ともに頑張りましょう。

部落解放同盟大阪府連合会沢良宜支部  
支部長 小西 貢さん

**自** 治会にとって地域に密着した愛センターは必要不可欠な存在です。今年、50周年を迎え益々充実した事業が行われるよう期待しています。「男の手料理講座」を受講した際のスタッフの丁寧な対応が良き思い出です。

葦原小学校区連合自治会・浜三自治会  
会長 矢頭 周さん

**年** 月が過ぎるのも早いもので解放会館から愛センターに名前も変わり開館50周年を迎える人権の拠点。老人から子供達までいつまでも皆様に愛される愛センターであってほしいです。

沢良宜生きがい交流ハウス運営委員会  
代表 北井 敏子さん

**開** 館当時、私は小学6年生でした。「たった一人に現れる不幸」を社会の課題として解決にむけ発展させましょう。はっちぽっちも愛センターの「地域交流促進・相談機能強化事業」を共に取り組みます！

NPO法人はっちぽっち  
理事長 村井 康利さん

**50** 周年おめでとうございます。近年老若男女が気軽に利用ができるよう工夫して運営されていると実感しています。今後も人権を大切に管理運営をお願い致します。私達も応援します。

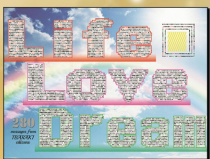
茨木市立子育てすこやかセンター  
センター長 村井 京子さん

**沢** 良宜にドンッ！と構える地域の安心の砦☆どこで生まれて育ったのか、今どこに住んでいるのか、どんな風に生きたいのか、違いや想いを受け止めて尊重してくれる50年でした。

ベンポスタ・ぱーちスペース（ユースプラザ）  
相談支援コーディネーター 橋本 知恵子さん

**創** 立50周年に心からのお祝いと感謝を申し上げます。50年間、地域の人々の活動の拠点として夢と希望を支援し続けてくれたセンターの、ますますの発展と成功を願っています。

沢良宜いのち・愛・ゆめセンター運営委員会  
会長 射場 一之さん



温かいメッセージありがとうございます。皆様からのメッセージや、エントランス壁面に描かれたメッセージを励みに、これからも地域に密着した、愛される「愛センター」として、引き続き歩んでまいります。

茨木市立沢良宜いのち・愛・ゆめセンター

茨木市沢良宜浜三丁目12番19号  
TEL 635-7667  
FAX 637-0794  
Mail sawaragi\_ai@city.ibaraki.lg.jp



あいセンターの市HPは左記コードから読み取り

沢良宜いのち・愛・ゆめセンター



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



茨木市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

## 編集後記

～センターだよりができるまで～

今回のセンターだよりは、センター開館50周年記念特別号！！どんな記念号にするか、数か月前から企画を何度も話し合い、完成させました。

センターだより制作の第2歩『紙面構成』。職員が1からデザインを考え、他の職員の意見を取り入れながら、レイアウトを決定します。

